



いなみ虹保育園病後児保育室 レインボー通信

No.84 2024.03.18.発行



窒息・誤飲を予防しよう

乳幼児の不慮の事故の中でも多い窒息。実は赤ちゃんだけでなく、小学生以上でも窒息の死亡例が報告されています。事故の予防として何ができるのでしょうか？

喉につまりやすいもの

- ・パン、米、麺類、団子、もちなどの主食
- ・蒟蒻ゼリー、ミニトマト、ブドウ、バナナ、うずら卵、豆、飴玉
- ・スーパーボールなどの玩具、硬貨



誤って飲み込むと危険なもの

- ・小型で強力な磁石
- ・水で膨らむボール
- ・コイン型ボタン電池
- ・大人用医薬品
- ・トイレ用洗剤
- ・漂白剤
- ・灯油など

これらを
誤飲した場合は
すぐ病院へ！

ボタン電池

食道に入ると、ボタン電池から電気が流れて食道の壁に穴があいてしまう。



磁石

磁石を飲み込むと、磁石同士が臓器を挟んでくっつき、臓器に穴があいたり壊死してしまう。



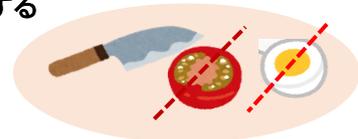
窒息・誤飲を予防するには？

○姿勢よく食べさせ、早食いや丸飲みをしないよう教える

- ・食品を口に入れたまま遊んだり、話したり、寝転んだりさせないようにする。
- ・泣いている子どもをあやそうとして食品をたべさせるのはやめよう。

○乳幼児期や、前歯の生え変わり時期は、食材の形や大きさに配慮する

- ・ミニトマトやブドウ、うずら卵などは4/1にカットする。
- ・豆や餅、飴玉は5歳以下には食べさせないようにする。



○乳児はなるべくベビーベッドで、あお向けに寝かせる

- ・掛け布団は子どもが自分で払いのけられる軽いものにし、そばにぬいぐるみなどを置かない。

○マスクをしている時は特に注意する

- ・マスクをしていると誤飲や誤嚥に気が付きにくい。発達に合わない場合はマスクはつけない。

○危険なものは子どもの手の届かないところに保管

- ・ブラインドやカーテンの紐は、短くくって子供の手の届かないようにする。
- ・年上の子どものおもちゃには小さな部品が含まれることがある。対象年齢になるまでは、遊ばせないようにしよう。

